

スコアシート		竣工段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.5
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-				
1.2 遮音		-	-	-	-				
1 開口部遮音性能		-	-	-	-				
2 界壁遮音性能		-	-	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	-	-				
1.3 吸音		-	-	-	-				
2 温熱環境									
2.1 室温制御		-	-	-	-				
1 室温		-	-	-	-				
2 外皮性能		-	-	-	-				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		-	-	-	-				
2.3 空調方式		-	-	-	-				
3 光・視環境									
3.1 昼光利用		-	-	-	-				
1 昼光率		-	-	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		-	-	-	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		-	-	-	-				
3.3 照度		-	-	-	-				
3.4 照明制御		-	-	-	-				
4 空気質環境									
4.1 発生源対策		-	-	-	-				
1 化学汚染物質		-	-	-	-				
4.2 換気		-	-	-	-				
1 換気量		-	-	-	-				
2 自然換気性能		-	-	-	-				
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-		3.7		
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画		-	-	-	-				
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-				
1 広さ感・景観		-	-	-	-				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		-	-	-	-				
1.3 維持管理		-	-	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-				
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.6	0.50	-	-		3.6		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.4	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能	免震装置を導入している	5.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房排気、シャワー室排気のダクトにガルバニウム鋼板を使用。その他一般排気は垂鉛鉄板を使用。	5.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管にVLP(B)、汚水管にVP(B)、消火管にSGP(C)とし、Eは不使用	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		4.2	0.20	-	-				
1 空調・換気設備	空調設備の重要度に応じて区分し、災害時には重要度の高いシステムを優先的に運転できるように、電力供給を行っている。	5.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備	大便器6L/回、小便器4L/回以下の器具を過半以上に採用している。また、系統を分け、災害時の被害軽減を図っている。緊急時用汚水槽を外構に設けるとともに、受水槽に蛇口を設置している。	5.0	0.20	-	-				
3 電気設備	非常用電源設備、無停電電源設備を備えている。また、重要設備系の受電設備の二重化を行っている。	5.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				
3 対応性・更新性		3.9	0.50	-	-		3.9		

3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	1階～3階の階高を6700 4階の階高を6200としている。	4.2	0.30	-	-		
	2 空間の形状・自由さ		5.0	0.60	-	-		
	3.2 荷重のゆとり		倉庫、バース、車路、ランプの荷重は15,000N/m ² としている。	3.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		倉庫、バース、車路、ランプの荷重は15,000N/m ² としている。	5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	3.4	
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.6	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.75	5.0	0.20	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			自然換気開口を採用している	4.0	0.10	-	4.0	
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]=0.49 LED照明設備を導入している	5.0	0.50	-	5.0	
4 効率的運用				3.5	0.20	-	3.5	
集合住宅以外の評価				3.5	1.00	-		
4.1 モニタリング			電力の消費量の表示機能のある機器を採用している。	4.0	0.50	-		
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-		
集合住宅の評価				-	-	-		
4.1 モニタリング				-	-	-		
4.2 運用管理体制				-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			節水コマに加えて節水型便器を採用している。	4.0	0.40	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	3.2	
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	4.0	0.22	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-		
1 消火剤				-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				-	-	-		
3 冷媒				3.0	1.00	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			LCGCO2排出率77%	3.9	0.33	-	3.9	
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-		
3 交通負荷抑制			適切な量の駐輪場・駐車場を確保し、荷捌き用車両の駐車施設も確保した。渋滞緩和対策は、全車両出入口3箇所のうち2ヶ所をそれぞれ入口専用、出口専用とした。	5.0	0.25	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-		
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33	-	2.4	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-		
1 騒音				3.0	1.00	-		
2 振動				-	-	-		
3 悪臭				-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40	-		
1 風害の抑制				1.0	0.70	-		
2 砂塵の抑制				-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-		
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-		